

# さくら再生プロジェクトについて (資料 3-2)

## 1 事業概要

### (1) 経緯

大池公園のさくらは、昭和48年(1973年)の供用開始以降、市民の約3割が「誇れる名所」として認識するなど、本市の代表的なさくらの名所(8種756本)となっているものの、近年、樹勢の衰えが目立ってきたことから、令和2年度(2020年度)に現況調査、樹木診断、市民アンケート調査及びワークショップ意見に基づき「大池公園さくら再生ワークショップ基本計画」を策定しました。

さくらを次世代に引き継ぐための基本方針としましては、市民参加により、既存のさくらの手入れを行い、「樹勢を回復」して延命しながら、少しずつ、計画的に次世代のさくらに「植え替え」ていくこととしています。

なお、植え替える場合は、エリアごとにテーマを設定し、開花時期の異なる種類や、シンボリックな景観演出など、さくらの「魅力アップ」を図っていきます。

### (2) 実施状況(市民ワークショップ及びボランティア活動)

令和3年度(2021年度)から、大池公園のさくらを市民が愛着を持って次の世代に引き継いでいくことを目的として、樹木医の指導のもと、市民参加による施肥や支障木の伐採等、「樹勢回復」のための手入れを行っています。

#### 令和4年度(2022年度)実践活動の記録

開催日	内 容	参加人数
11月12日(土)	さくらの周りの支障木や枝の伐採	13人
12月3日(土)	さくらの健康状態の確認	20人
2月18日(土)	さくらの施肥	15人
3月4日(土)	さくらの施肥、さくら巡り看板設置	12人
4回開催		延べ60人参加

令和5年度(2023年度)についても、4回開催を予定しております。

また、令和4年度(2022年度)からは、新たに市民ボランティアの募集を行い、支障木の伐採や施肥等の作業も行っていただいております、延べ77人の方に参加していただいております。

その他、一般市民による実施が困難な大径木の伐採、高枝の剪定、土壌改良等の作業については、造園業者により実施しています。

さくらの樹勢回復作業の進捗状況としましては、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2024年度）までの3年間で、桜まつり会場周辺のさくら約160本を対象に実施しております。

### さくらの樹勢回復作業の記録

年度	作業実施さくら本数（本）		市民参加人数（人）	
	施肥 （単年）	支障木伐採 （累計）	ワークショップ	ボランティア活動
令和3年度 （2021年度）	60	30	46	-
令和4年度 （2022年度）	160	130	60	77
令和5年度 （2023年度）	160 （予定）	160 （予定）	60 （見込み）	80 （見込み）

↑  
公園全体のさくらの内、22.8%（160本／700本）

大池公園全体のさくらの本数は、約700本あり、これまでの3年間では、全体の4分の1にも達していない状況です。全体の樹勢回復を進めるには、まだ多くの手間と時間がかかりますので、ボランティアの育成と活動の継続が必要となります。

今後は、老木化が進んでいることから、「樹勢回復」を進めるとともに、計画的に次世代のさくらへの「植え替え」に取り組んでいく必要があります。

令和6年度（2024年度）には、展望台の南側のエリアに、次世代の桜として、病気に強い品種の「ジンダイアケボノ」を市民の皆様とともに植栽する計画をしており、シンボリックな景観として、池越しの水面に映る眺望の魅力向上を図りながら、市民の誇れる大池公園の「さくら」を未来へつないでまいります。

## 2 添付資料

- ・ワークショップ基本計画
- ・ボランティア・ワークショップ参加者募集チラシ
- ・ボランティア作業状況
- ・ワークショップニュース（No.8～No.11）





# 大池公園

## さくら再生プロジェクト

大池公園のさくらが、これからも  
綺麗に開花するように、みんなで  
元気にしよう！

募集中!!

～大池公園さくら再生ボランティア活動について～

樹勢の衰えが目立つようになってきた大池公園のさくら再生を目的として、12月から3月頃までの平日（原則火曜日及び金曜日）の午前中に、ボランティアによる支障木の伐採や剪定等のさくらを再生させる活動をしています。

※詳しくはホームページ（裏面QRコード）または花と緑の推進課へお問い合わせください。

### 令和5年度ワークショップ開催日時

- 第1回「健康診断をしよう」  
日時：令和5年11月25日（土）午前9時30分～12時00分
- 第2回「土壌改良をしよう」  
日時：令和6年1月20日（土）午後1時00分～午後4時00分
- 第3回「日当たりを良くしよう」  
日時：令和6年2月17日（土）午後1時00分～午後4時00分
- 第4回「さくらを植えよう」  
日時：令和6年3月2日（土）午前9時30分～12時00分

※詳細は裏面をご覧ください

“この事業は「あいち森と緑づくり事業」によって活動しています。”



今年はさくらを植樹します！

# ワークショップは全4回！

是非ご参加ください！

## 第1回

### 「健康診断をしよう」

樹木医の先生のお話を聞きながら、さくらの現状を確認するとともに、さくらの健康について考えます。



## 第2回

### 「土壌改良をしよう」

芝生広場にあるさくらを元気にするため、根元の土をエアースコップを使ってやわらかくして、肥料をあげます。



## 第3回

### 「日当たりを良くしよう」

樹木医の先生の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。



## 第4回

### 「さくらを植えよう」

展望台付近にエドヒガンザクラを植えて新たなエリアをつくり、公園の魅力アップを図ります。



<問い合わせ>

**東海市 花と緑の推進課**

東海市中央町一丁目1番地

☎ 052-603-2211 0562-33-1111

「東海市 さくら再生」で検索







2/18：芝生広場のシンボル5本の桜の土壌改良と施肥を行った

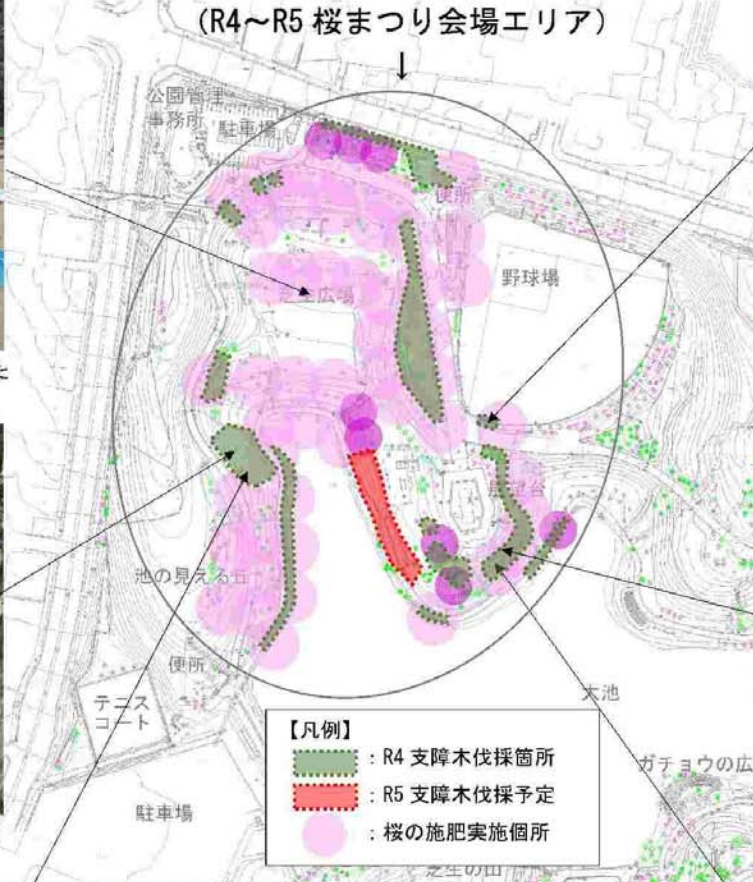


3/4：外周園路からの桜の景観を阻害する雑木の伐採を行った



3/28：水辺の桜、広場の桜、園路の桜の景観が開けた

大池公園さくら再生ボランティア作業状況  
(R4~R5 桜まつり会場エリア)



2/15：市民ボランティアでは困難な高所作業は業者委託にて実施



11/12：桜の陽当たりを良くするため支障木を伐採した



さくら再生ボランティア (R4実績：20回、延べ150人以上参加)



3/28：桜の開花のバックに池を見通せる明るい景観が広がった



第1回イベント概要

日時：令和4年11月12日(土)AM9:30~11:30  
 場所：大池公園会議室と園内一帯  
 参加者：19名(住民11、新聞社等2、事務局3、東海市役所3)

今回のイベントは、市の広報や新聞地方版でのボランティア募集の掲載他により、東海市外からも参加者が駆け付けるなど、参加者の皆さんの再生への関心の高さや真摯な意気込みを感じました。

このことは、会議室での参加者の再生へ向けた抱負や参加の動機の発言やアンケート結果にも明確に表れており、さくら再生ボランティア活動への積極的参加は、本活動をを進める大きな原動力であるだけに、大変心強かつ有り難く感じられました。

その後園内の今年度重点作業区域を巡り、これまで実施してきた伐採や伐採により改善した景色、今後改善していきたい景色等の説明を受けた後、参加者全員で、さくらの成長を妨げている隣接した枝葉が競合する樹木の枝などを除去しました。

第2回イベントでは、樹木医の先生からさくらについての詳細な説明がありますので、是非ご参加下さい。

会議室での様子→



令和4年度イベントスケジュール (内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】

『日当りを良くしよう』  
 専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。



第2回イベント【2022年12月3日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その1)』  
 樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その2)』  
 前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』  
 さくらに名ふだを付けPRし、さくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3年度に4回実施し、引き続き令和4年度も4回開催の予定です。みんなで“さくら”にふれあいながら簡単な維持管理作業を行い、さくらの勉強もできますのでぜひご参加ください。

さくらの特徴

- ① 日当りを好む=日陰になると光合成が阻害され葉や花芽の出が少なくなる。  
 さくらは陽樹(日当たりのよい環境でよく育つ性質をもつ樹木)で、日当たりが良い場所で、水捌けが良く肥沃な土壌で良く育つ。地下水位の高い場所や停滞水のある場所では良く育たない。
- ② 腐りやすい=剪定したところから腐朽菌(木材腐朽菌は、木材を腐らせる菌のこと。シイタケやシメジなどの食用のキノコも分類上はこの菌と同じ仲間)が入り、幹や枝を腐らせる。
- ③ 病気になる易く、虫も付きやすい=植えた時から見栄えを考えると、密植し過ぎ、病害虫が発生するという宿命にある。  
 病気:幼果菌核病、ナラタケ病、せん孔褐斑病、てんぐ巣病、ベッコウタケ病、紫紋羽病、白紋羽病  
 害虫:オビカラハ、アブラムシ類、アメリカシロヒトリ、コスカシバ、カイガラムシ類、ゾウムシ類、モンクロシャチホコ
- ④ 土壌の影響を敏感に受ける=さくらは浅根性で、根が伸びるのは深さ50~60cm程度、土が固い所では30cm程度と比較的浅い所。土が締め固まるなど、土の条件が悪いと弱りやすい。

さくらの剪定の意義

- ・さくらに光を当てて元気をつけることができる。  
 枯枝や不要な枝(からみ枝・逆さ枝・ふところ枝・徒長枝・並行枝・車枝等)さらに、隣り合う樹木と重なった枝などの剪定は日陰を解消し、成長を促し、健全で元気なさくらにすることが出来る。樹木は日照を求めて南側の枝葉の成長が盛んなので、さくらに隣接する北側の樹木が南側のさくらと枝葉が競合している場合も剪定する。特に、さくらが大きくなっていて、樹冠(枝葉が広がっている部分)が広がってれば、隣接木がその下で茂ってもさくらの日当りにはそれほど影響がない。
- ・やごやひこばえは、さくらが弱って枝が下の方から出てきたものだから、樹勢回復のためには切ってしまう方がよい。このような枝はそのうち自然に枯れてしまう。

太枝はどの位置で剪定すると良いか



ブランチャカラー(幹の襟)

C:幹から枝が数センチ残っていると、残った枝の部分が枯れてしまい見苦しくなる。A:幹に沿って切ると自然で目立たない。B:実はBで切るのが適切。枝の付け根にはブランチャカラーという部分があり、傷口を塞ぎ形成層を復活させる栄養分が多く含まれているため、カルスと呼ばれる回復組織が傷口を回復するといわれており、ブランチャカラーを残して枝を落とすと傷口の回復が早いとされている。

10月21日  
 中日新聞朝刊  
 知多版に掲載  
 された『ボラ  
 ンティア募  
 集』記事

大池公園の桜再生  
 ボランティア募集  
 東海市  
 東海市中央町の大池公園  
 桜の木の再生を手助けする  
 作業ボランティアを募集  
 している。市が  
 市による、大池公園に  
 はソメイヨシノなど八種  
 類約七百本の桜がある。樹  
 木から五十年以上が経過  
 しているに加え、開園  
 の根木により日当たりが  
 悪くなるなどの課題など  
 で樹勢が衰えているとい  
 う。市は、開園の  
 中しつらな作業に  
 参加出来る市民、専門  
 家を協働して、全園  
 での樹勢回復を目指す  
 としている。募集  
 方法は、電話か専用  
 の申し込みフォーム  
 (0562-031111)で  
 申し込み、開園後  
 前九時開始、桜の日  
 本から五十年以上が経過  
 しているに加え、開園  
 の根木により日当たりが  
 悪くなるなどの課題など  
 で樹勢が衰えているとい  
 う。市は、開園の  
 中しつらな作業に  
 参加出来る市民、専門  
 家を協働して、全園  
 での樹勢回復を目指す  
 としている。募集  
 方法は、電話か専用  
 の申し込みフォーム  
 (0562-031111)で  
 申し込み、開園後





令和4年度 再生イベント実施区域



今回作業したさくらの周囲の樹木の剪定と枝葉の整理状況



第1回イベント参加者アンケート結果(回答数11)

- 参加者の構成
 

市内	9人	50代	1人	男性	9人
市外*	2人	60代	6人	女性	2人
*半田市1人		70代	3人		
阿久比町1人		80代	1人		
- さくら再生ボランティアに参加しようと思った動機(複数回答)
 

大池公園のさくらに興味があった	6人
さくら再生の手助けをしたいと思った	8人
さくらの手入れの方法を学んでみたいと思った	9人
仲間と交流できるとよいと思った	5人
大池公園を、市民が誇れる「さくらの名所」にしたいと思った	5人
その他(自由記入)	
・さくらは花を見るだけでなく、切った後も燻製等に利用できるの で、自分はそうしている	
・我家の木の剪定等見本とできたら	
・「ボランティア活動」をすること自体に興味があるから	
- さくら再生ボランティアとして取り組んでみたいこと(複数回答)
 

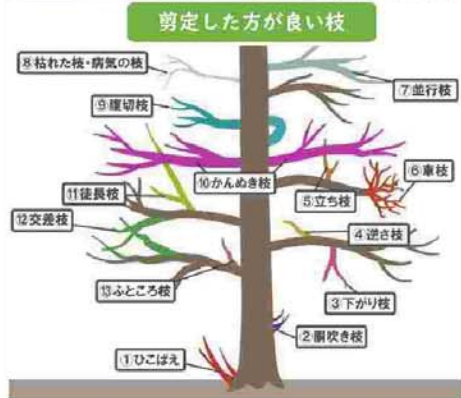
支障木の伐採	10人
枯れ枝や支障枝の剪定	10人
施肥や土壌改良	8人
新しいさくらの苗木の育成や記念植樹	5人
勉強会や講習会	6人
視察研修や交流会	4人
観察会やガイドツアー	2人
四季の草花や花木の育成	7人
(仮称)大池公園「さくら守りの会」結成	2人
その他(自由記入)	
・さくらだけではなく(例:水で遊ぶ)公園作りも良いと思います	
- さくら再生ボランティア活動にどの位の頻度で参加したいか(1つ選択)
 

年に1回くらい	0人
年に4回~6回くらい【作業内容に適した時季】	4人
月に1回くらい	4人
週に1回くらい【火、金又は土】	2人
毎日でも【空いている日】	1人
その他(自由記入)	0人
- その他自由意見
  - ・庭木の手入れの会に参加し、都合のつくときに従事している。
  - ・東海市民として何か役に立つことをやってみたいと思い、さくら再生ボランティアに参加させていただきました。
  - ・大池公園の桜の木も年齢を重ね弱っている木が多いことを知る事ができた。少しでも樹力を上げれる手伝いができるようにしたいと思いました。
  - ・大切な桜や公園の樹木は切られてしまった後も利用すべきだと強く思います。又、公園にはドングリや松ぼっくり等、工作に利用できる物が沢山あります。リース作り等してみたいかがでしょうか。

芝生広場の中にあるさくらの現況説明  
昨年度市が実施した池側の支障木撤去後の風景



今回剪定した枝葉は切りそろえ、安全な位置に置いた





令和4年度第2回イベントを開催しました！

日時：令和4年12月3日(土)AM9:30～12:00  
 場所：大池公園会議室と園内一帯  
 参加者：31名(住民19、造園会社5、樹木医1、東海市役所2、事務局4)

今年度2回目のイベントは、新たな市民や造園会社も加わり、樹木医さんによるさくらの特徴や健康に関する説明の後、園内で参加者がさくらの元気度調査(診断)を指導を受けつつ実際にやってみました。更に次回イベントで予定されている施肥の試行もあり盛沢山でした。樹木医さんの丁寧な説明により、参加者が日頃抱えている樹木に関する質問や疑問を解決できる、非常に有益で貴重な機会となったのではないかと思います。

今回“さくら再生ボランティア”活動日アンケートも実施させていただきました。大池公園のさくら再生は、ボランティアの皆さんに中心となっていたいただき、行政や造園会社がそれを補って進めていきたいと考えています。皆様の尊いご協力を得て役割分担しながら、本イベントを軌道に乗せたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



会議室での様子

令和4年度イベントスケジュール(内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】

『日当りを良くしよう』  
 専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。



第2回イベント【2022年12月3日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その1)』  
 樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。



第3回イベント【2023年2月18日(土)】

『さくらの健康を考えよう(その2)』  
 前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』  
 さくらに名ふだを付けPRし、さくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3年度に4回実施し、引き続き令和4年度も4回開催の予定です。みんなで“さくら”にふれあいながら簡単な維持管理作業を行い、さくらの勉強もできますのでぜひご参加ください。

さくらの知識

- ・日本の野生のさくらの種類は10種類(ヤマザクラ、オオシマザクラ、カスミザクラ、エドヒガン、マメザクラ、チョウジザクラ、ミヤマザクラ、タカネザクラ、オオヤマザクラ、クモノザクラ。中国や台湾から沖縄に渡ってきたカンヒザクラを含めると11種)。園芸品種は350種以上、それぞれ花の形や色、香りに特徴があり同定可能だが、落葉期に種類を決めるのは極めて困難。
- ・大池公園のさくら700本程の内ソメイヨシノが9割以上。ソメイヨシノはエドヒガンザクラ(母)とオオシマザクラ(父)のかけ合せでそれぞれの長所を持ち江戸時代に誕生した。その後長年に渡り“さくら”と言えばソメイヨシノという位大量に植栽された。エドヒガンザクラの寿命は何百年から千年以上にもなるが、対してオオシマザクラは短命で寿命は長くて二百年程度。ソメイヨシノはその短命を引き継いだ。特に昭和38年頃から全国一斉に植えられ、老木化問題も全国至る所で発生している。

樹木としてのさくらの特徴

- ① 日当りを好む。② 腐りやすい。③ 病気になる易く、虫も付きやすい(特に生きている木の組織を食べ、腐らせ、倒木させるキノコのベッコウダケとコフキダケに注意が必要)。
- ④ 土壌の影響を敏感に受ける。



さくらの樹勢回復に必要な作業

さくらは一旦元気がなくなると回復させるのが難しい。ポイントを絞って対策することが必要。

- ① 日当りを阻害している周りの樹木や枝などを伐採する。
- ② さくらの不要な枝を剪定する(通常の枯枝、からみ枝、逆さ枝、ふところ枝、徒長枝の剪定)。その他近年、あまりされなかったさくらの剪定が行われるようになってきた訳は？  
 青森県の弘前公園には樹齢百年以上のソメイヨシノが70～80本ある。このソメイヨシノを維持管理する人にリンゴ農園の人がいて、リンゴの剪定方法でソメイヨシノを剪定してみたところ、翌年優れた若い枝が出て花つきも良くなった。この剪定方法を樹木医等で研究し、若枝(樹体)更新という技術方法が確立し、全国にも広がってきている。  
 さくらはまず長枝が伸び次にその脇から短枝が伸びる、花は2年目の短枝につく。一旦短枝が出ても年間1～2cm位しか伸びない。従って弱った枝を切り、新しい若い枝をなるべく増やす。枝を切られると葉や枝が減り刺激となる。そういう訳でさくらが剪定されるようになってきた。
- ③ 土壌改良を行い、肥料をあげる。

さくらの元気度調べ(樹木診断)

冬に施肥しても枝葉が元気になり効果が出てくるのは春から夏で、花が咲くのは翌年春で効果が出るまでに時間が必要。1本1本しっかり確認するのが大切。診断により、その木の弱ったか所の対応を決めることができる。良い木を数多く見ること。大池公園のソメイヨシノは現在危機的な状況で、二十年後はボロボロになるかもしれないほど悪い。弘前公園の様に土壌改良・剪定等のきめ細かい管理とまではいかななくても、放置すると現在のようなさくらの名所ではなくなる可能性がある。





今回のイベントの様子



樹木医さんの説明を聞く



元気度調査の様子



太枝の剪定位置



太枝の途中(例えば A)で切除すると、新たに芽生えた小枝では切り口を修復させる養分が足りないため、腐朽していく可能性が高い。切除する枝径の 1/3 程度の枝があるところ(分岐部 B)まで戻って切るか、無ければ幹元(C)で切る。

若木の頃に菌が入り発症。形成層を圧迫し養分水分を枝先に送れず衰弱する。罹患後に内部の消毒はできず現在対応策なし。大池公園はこぶ病のサクラが殆んど。天狗巣病は少ない(東海地方は少ない傾向)。

枝折れの判断



←枝が腐食しており、放置すると強風の影響で折れ公園利用者他に被害を与える事故発生の恐れがある。枝の断面積に対する腐植部の割合が、5割を超すと折れる危険性が高くなるとされている。

切口癒合促進剤

塗布してから効果は3か→月程度しか続かない。



今回のさくらの元気度調査に使用したシート

調べてみよう「さくら」の元気度調査シート No. \_\_\_\_\_

調べた日	調べた人	さくらの場所(番号)
		大池公園

調べる木のの様子をよく見て、中から3つあてはまる数字を左側に記入して下さい。

見るところ	様子
1 全体の姿	① 元々 ② 少し斜っている ③ かなり斜っている
2 幹の傾き	① ほぼまっすぐ ② 少し(10度程度) ③ 5度以上
3 根元の腐り・空洞	① なし ② 大きくふくらみ空洞もある ③ 小さな空洞がある
4 キノコの発生	① なし ② 枝にキノコがある ③ 幹や樹元にある

これ以外にも調べることはたくさんありますが、1から4が特に重要です。4つの内1つでも0があれば、そのままとられてしまう可能性がありますので、発見をするために、専門の人によって、さらに詳しく調べる必要があります。 ※調べる方もあります。

更に余裕があれば、以下も調べてみてください。

見るところ	様子
5 樹皮	① なし ② 下の方にある ③ 上の方にある
6 幹腐	幹を木づちでたたいて腐を調べる
7 白腐	① 充実した重い音 ② 軽い音で軽く聞いた音 ③ あちこちで軽い聞いた音
8 腐の木の折れ	① 腐植部が2割以下 ② 腐植部が2割以上 ③ 腐植部が2割以上

第2回イベント参加者アンケート結果(回答数19)

0 参加者の構成

住所	市内	15人	市外*	2人	不明	2人
年代	10代未満	3人	30・40代	4人	50・60代	6人
	70代以上	3人	未確認	3人		
性別	男性	12人	女性	7人		

\*半田市1人知多市1人



4 その他自由意見

- 積極的に参加させて頂きました。本日はためになりました。
- 木のクイズがいっぱいあるといいとおもいます
- 子供にもわかりやすくして欲しかった。木のクイズがたくさんあると勉強になると思います。
- 主に週末が仕事のため残り2回以外のボランティアは平日主体で参加させて頂きます。
- 子供には少しむずかしい所はありましたが楽しく話を聞くことができてよかったです。
- 樹木医さんの話とても参考になりました
- なぜか?と考えることがないと思ってしまうと思います
- 2/18参加予定



令和4年度第3回イベントを開催しました！

日時：令和5年2月18日(土)AM9:30～12:00

場所：大池公園会議室と園内一帯

参加者：25名(住民12、東海緑樹5、樹木医1、東海市役所3、事務局4)

今年度3回目のイベントは『さくらの健康を考えよう(その2)』として、樹木医さんの説明と指導を受けながら、遊戯広場と芝生広場の境にある5本のさくらへの施肥と土壌改良作業を行いました。

寒い時期にもかかわらず、汗をかき程、また、小さな参加者は『疲れた』を連発する程熱心に作業が行われました。こういった作業はつつい夢中になって頑張るものです。

作業の後、園内を巡りながら、東海市の方にこのところ実施した剪定や伐採によって開放的になった園内の様子の説明を受けました。

このイベントも今年度あと一回となりました。最後の第4回では、さくらに名札を付けたり、施肥も行う予定です。

間もなく迎えるさくらの開花が楽しみとなりました。



会議室での様子



参加者持参の河津桜

令和4年度イベントスケジュール(内容は予定)

第1回イベント【2022年11月12日(土)】

済

『日当りを良くしよう』  
専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。

第2回イベント【2022年12月3日(土)】

済

『さくらの健康を考えよう(その1)』  
樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】

済

『さくらの健康を考えよう(その2)』  
前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】

『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』  
施肥と、さくらに名ふだを付けさくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を更に付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3・4年度に各4回、簡易な樹木管理を実施してきました。さくら再生事業は今後も何らかの形で継続されていく見込みですので、ご期待頂き引き続きご支援をお願いいたします。

施肥と土壌改良の意義

施肥は比較的容易で効果的な作業だと考えがちだがそれほど簡単ではない。樹木は水と光と二酸化炭素を自給自足し光合成を行い成長するので、肥料は不要と思えるが、窒素・リン酸・カリが少量必要。ただし、これら肥料があれば十分だともいえない。畑では耕耘が不可欠だし、植木鉢には培養土を入れる。つまり根が張れる柔らかい状態の土壌にして根が肥料を吸収できるようにして肥料を与えることが重要。土壌改良とは固結した土を耕し、細根(細い根)が出やすくなるようにすることともいえる。

今回なるべく多くの穴を掘り、穴に堆肥と肥料を入れる。根は養分以外にも呼吸しているので酸素も欲する。舗装の下でも水分と酸素があれば根はどんどん伸びていく。土壌改良と施肥は一緒にやっておそ意味がある。

今回の施肥の方法は、まず、直径・深さ共15~20cm程度の穴をさくらの樹冠の範囲程の地面に掘り、次いで今回は穴に固形肥料を3個入れる(掘る穴の数と入れる固形肥料の量がさくら1本当りの施肥量に影響する)、そして、掘った土とパーク堆肥を混ぜ埋め戻す。

化成肥料について

化成肥料の成分は窒素(N)・リン酸(P)・カリ(K)。窒素は光合成を助け枝葉を茂らせ、リン酸は花や実をつけさせる、カリは根に活力を与える。化成肥料の配合は、100g中の量で、例えば配合がN:P:K=8:8:8なら、それぞれの成分が8gずつ含まれている。残りの成分は粘土。高配合の肥料を与えるとも肥料障害を起こす。逆に低い配合のものは安全。また、配合と与える量両方を考慮する必要がある。緩効性化成肥料は表面がコーティングされていて少しずつ溶け出すので、効果が徐々に長期間(2年余り)持続する。化成肥料に対し骨粉等の有機質肥料がある。化成肥料は成分が調整されているが有機質肥料は調整されていないが使用に問題はない。

街路樹は施肥しなくても成長している。土壌に酸素と水分が入るようにしてそこに堆肥を入れてやるのが樹木を元気にする方法である。パーク堆肥は肥料ではなく、土壌に空気層を作り、水分を行き渡らせ、根にとって心地良い状態を作るという役割をもつ。ただ、入れすぎると乾燥してしまうので注意が必要。

根について

施肥するときに太い根を切ってしまうのは本末転倒。1cm以上の太さの根は残して穴を掘ること。樹木医は穴を掘るときスコップは使わずドライバーで少しずつ掘っていき(深さ50cmの穴を掘るのに2時間位かける)、5mm以上の根は傷めないように残す。10~0.5mmの根を切ると細根が多く出るので、細い根を切ることも意味はある。従ってなるべく沢山の穴を掘り肥料を少しずつ与えることも良い方法。大池公園の土壌は粘土質なので根は地表近くに広範囲にある。細根は1月程度で死に、また新しい細根が出る。根の伸びる範囲は枝や葉と深く関係がある。枝葉が出ていると根も伸びる。一般に枝葉の先端の範囲まで根は伸びていると言われている(実際にはもっと伸びている)ので葉の先端あたりに施肥する。根元や遠く離れて施肥しても効果はない。大木がその頂部まで水分を揚げるには力がある。根が水を吸い、健全な樹木は葉の蒸散の力で先端まで水分が揚がる。

施肥の効果

大池公園のさくらは状態が悪化してきている。樹齢5~10年のさくらを植えて、60年程が経過しているが、粘土質土壌なので根は下へは張らない。さくらにとって環境は良くないのでそのまま放置できない。これから再生のために手入れを行えば少しずつ反応してくれると思う。今回施肥したが、今年の芽出しには効果は現れない、後に定期的に観察すると面白いと思う。それでも、さくらは比較的反応が早いので来年には、施肥の効果を観察できたいと思っています。

今回参考にした弘前公園の方法(沢山の穴を掘り土を柔らかくしている)



使用材料





### 施肥と土壌改良の様子



### 樹木医さんの説明(左)と実演(右)



### 今回の土壌改良・施肥の手順

- ① さくらの根の周りにスコップ等で(太さ1cm以上の根を切らないよう)穴を掘る(直径・深さ15~20cm)。
- ② 掘った土とパーク堆肥を混合し、穴の中に入れ、今回固形肥料(N:P:K=3:6:4)3粒を入れ、再びパーク堆肥と現状土を盛土状に埋戻す。
- ③ 表面を軽く抑え、残った土はならすか別場所へ運搬する。

### 作業状況

### 作業完了



今回の作業で、偶然昨年のワークショップで施肥した固形肥料が出てきました。驚くほど細根がたくさん発生していました。



こんなに多くの作業が行われました  
これまで実施された“さくら再生ボランティア”活動日と市民等参加人数(AM9:30~2時間程度、市・管理職員等除く)

作業状況(支障枝剪定・伐採)



作業状況(施肥・土壌改良)



月	12月				1月					2月				3月		
	13日(火)	16日(金)	20日(火)	23日(金)	10日(火)	13日(金)	17日(火)	20日(金)	24日(火)	27日(金)	7日(火)	10日(金)	14日(火)	17日(金)	28日(火)	3日(金)
参加人数	雨中止	3人	6人	4人	5人	4人	4人	4人	5人	3人	6人	雨中止	7人	4人		
作業内容	-	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	施肥	施肥	施肥	-	施肥	施肥

ちょっと一息(大池公園のさくらは弱っている状況ですが、街中で驚くような生命力を持ったさくらを見かけたので紹介します)

太枝が枯死または剪定後、樹皮が傷口を塞ぐ中で新しい主幹並みの太枝が発生している(名古屋市北区金作公園)



枯死後根元から発生したヒコバエの元気な1本を残し、その他を剪定し再度成木化した(名古屋市中区愛知県公館前)



### 参加者からの質問と返答

参加者から①こぶ病と②カミキリムシ被害対策の質問がありました。いずれも現在では抜本的な解決方法はなく、①は特定の薬ではなく発病した個所を切り取る、②は消毒(樹幹注入等)するか伐採し撤去するしかないのが現状とのことでした。



### 第3回イベント参加者アンケート結果(回答数11)

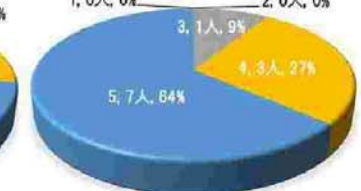
#### 1 参加した感想

【樹木医さんの説明】  
1 難しかった<5 良くわかった



【イベント全体】  
1 参加したくない<5 また参加したい

1.0人, 0% 2.0人, 0%



・桜の成長維持の状態などが理解できた  
・土壌改良の必要性が良くわかった  
・一問一答で早く回答頂けて良かった  
・いみがわかんかった  
・素人にもわかりやすかったです

・穴ほりを楽しめた  
・継続することで効果が見られると思っているので

#### 2 これまでの再生活動(土曜日イベント、平日活動)に参加してみた感想

- ・短い時間の作業ですが、少しでも再生につながっていけばうれしいです。
- ・幅広い世代に渡って、興味を持ってもらえる様に(小学生~経験者)工夫されたプログラムで良いと思います。参加してくれた子供達が将来に渡って樹木に興味を持って、そんな子供達が増えて、緑を大切に社会につながって行くのが良いですね。
- ・桜のことについて詳しく知ることができた。
- ・平日の活動を実施しても良い、実施回数を多くしないと。
- ・個人的には先日のボランティア時に自然に折れた枝を頂いたので、桜染めをやってみようかと思っていますが、何か形に残るものがあると良いかもしれません。(食品は難しいとして、大池公園の桜を活かした物品等)
- ・公園内がきれいになっていくのが楽しみです。

#### 3 今後再生活動でやってみたいこと、現在の改善点、今後の意気込み

- ・今回土壌改良・施肥した回りの根本(元)の回り(周り)はさく(柵)を作った方が良い。
- ・都合の合う時は、継続的に参加したいと思います。

#### 4 その他自由意見

- ・前回に比べて 公園の樹木の剪定、伐採がされていて 風景が違っていたので驚きました。桜の時期に訪れようと思います。



令和4年度第4回イベントを開催しました！

日時：令和5年3月4日(土)AM9:30～12:00

場所：大池公園会議室と園内一帯

参加者：23名(住民11、東海緑樹5、東海市役所3、事務局4)

今年度最後のイベントは、今年度のさくら再生活動の総仕上げとして、施肥と支障木撤去及び施肥木への名札つけを行いました。

会議室での本日の予定等の説明を受けた後、早速今年度イベント実施区域で、第3回に引き続いて、公園管理事務所駐車場の東側植樹帯法面のウスズミザクラ3本とその隣及び園路沿いのさくらへの施肥と肥料をあげた木に名ふだをつけました。

次に園内西側の南北主要園路にあるベンチ付近の池沿いのさくらを見下ろす位置で、視界を妨げている支障木の伐採等を行いました。

本日の作業で今年度予定の区域のさくらへの施肥は一通り終わり、支障木の伐採も目立つ箇所ほぼ終了できました。これもこのイベントと、12月から継続していただ

ているボランティアの皆さんの地道な作業の賜物です。

大変ありがとうございました。

最後に、4月からこのプロジェクトへのご支援とご協力何卒よろしくお願い申し上げます。



会議室での様子

令和4年度イベントスケジュール

第1回イベント【2022年11月12日(土)】



『日当りを良くしよう』  
専門家の指導のもと、さくらの周りの支障木や枝を伐採し、さくらの生育を促進させます。

第2回イベント【2022年12月3日(土)】



『さくらの健康を考えよう(その1)』  
樹木医の先生からさくらの基礎知識や樹勢回復方法などを聞き、そのあと、さくらの元気度調べを行います。

第3回イベント【2023年2月18日(土)】



『さくらの健康を考えよう(その2)』  
前回と同様に、樹木医の先生の指導のもと、さくらの根元の土を柔らかくして肥料をあげます。

第4回イベント【2023年3月4日(土)】



『肥料をあげた木に名ふだをつけよう』  
施肥と、さくらに名ふだを付けさくらに興味を持ってもらいます。

このイベントの概要

- 大池公園(東海市中央町三丁目、面積約24.8ha)は1973年(昭和48年)に緩衝緑地として開園。さくらの名所として毎年春にはソメイヨシノ他のさくらが咲き誇り、最近ではライトアップも行われ花見の名所となっていますが、開園後約50年が経過しソメイヨシノ等の老木化が目立ってきました。
- 『大池公園さくら再生イベント』は、大池公園のさくらをこの先も楽しめるよう、市民の皆さんと東海市で協働して守り次世代に引き継いでいくと共に再生させ、名所としての魅力を付加することを目指して令和元年度に始まり継続しています。
- 『大池公園さくら再生イベント』は令和2年度に3回、同3・4年度に各4回、簡易な樹木管理を実施してきました。さくら再生事業は今後も実施方法を工夫して継続されていく見込みですので、ご期待ください。

第3回イベントでの施肥と土壌改良についての樹木医さんからのコメント

○ 広場のサクラの衰退を招いている大きな要因

⇒根系の生育範囲が浅く狭いこと

- ・施肥作業を行った広場のさくらの根は地表下10cm位にあった(予想は20~30cm)
  - ・同様に根の範囲は樹冠下まで伸びていなかった(一般に樹冠の範囲程度に根は伸びる)
- <原因>粘土層の硬い土質と人が踏み固める踏圧により根が地中に伸びられず、表層で雨水と空気を吸収する表層根と呼ばれる細い根で生活していると推測される。常に水と酸素が補給されるなら問題はないが、夏の乾燥期には表層にある細根は大きくダメージを受けてしまう。(空気は雨水と一緒に地中に入る)水が補給されれば伸びて、補給されなければ枯死しての繰り返しで、結局狭い範囲での根域しか確保できない状況にあり、当然その結果は上部の幹、枝葉に影響が出てくる。

○ 対策

⇒穴を掘って堆肥をすきこむ土壌改良を継続すること、根元周囲を立入りできないよう人止め柵を設置することが有効と思われる。

- ・人止め柵は公園の性格上、「立入禁止」よりは少し柔らかな感じの方が良いと思われる。何が適当なのか皆で考えてみるのも良い。
- ・よく地被や草花などの植栽を根元周りに植えて人が近づかないようにする対策も取られるが、今回、サクラの根域が地表下10cm位のためさくらと植栽の根が競合したり、植栽時にさくらの根を傷める危険性が大きいので避け方が難しい。

○ 将来展望

- ・これら取り組みをしてこの広場の5本のさくらが再生したなら、プロジェクト参加者も手ごたえを感じることができるのではないかと。
- ・幸いさくらには反応が速いので、土壌改良と衰弱枝の切除、萌芽枝の整理などを繰り返すと数年で良くなると思う。
- ・今後、さくらを保全する活動の継続を期待するならば、目に見えるさくら再生の成功例が是非とも必要だと思う。

さくらの元気回復度を知る方法(案)

これまでイベントの中で、さくらの元気度を知る方法として樹木医さんから説明を受けたのは、①花弁の数を数える、②葉の茂る前に「枝の伸び具合」の確認を行う等。②は、枝の先端から最初にある芽鱗痕(がりんこん：芽鱗は休眠芽を覆う鱗状小片で、前年の芽鱗が着いたところに残る痕が芽鱗痕)までが前年に伸びた枝、その元の芽鱗痕までがその前々年に伸びた枝なので、その長さを比較する方法等。その他、樹冠の広がり具合等の継続的な撮影と記録や専門家(樹木医)による精密診断の実施等が考えられる。

今回樹木医さんから提案を受けたのは、①夏ぐらいに幹から出てくる「新しい枝(徒長枝：この枝を新たに育てて更新することもあり)」の確認と、②芽鱗痕間の長さを確認→木の上方面の確認が分かりやすい(例：前年5cm⇒今年10cm等)の2方法。一般の方であれば、②については、確認位置が高くなる可能性もあり安全対策等が必要なので、①の方法が行い易いというものでした。



第3回WSでの広場の施肥状況



今回の参加の皆様



ボランティア活動を示すのぼりとヘルメット



今回の施肥と土壌改良の様子



施肥・土壌改良の作業状況



名ふだの設置状況



今回施肥・土壌改良した淡墨桜  
 ・岐阜県本巣市根尾谷の樹齢1500年以上のエドヒガンザクラの古木の苗木を植えたもの(園内に4本あり)  
 ・花卉の色が蕾～満開～散り際でピンク～白～薄墨色に変化する(名前の由来)。  
 ・早咲き系で彼岸の頃、ソメイヨシノより若干早く開花する。  
 ・年を経るにつれ幹が次第に柿の木のように縦に割られる(他のさくらとの違い)。  
 ・ソメイヨシノと違い、樹齢は長い、元気がないので施肥・土壌改良を実施した。

支障木伐採の作業状況



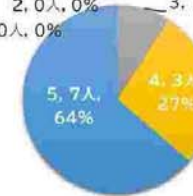
支障木伐採の作業前と作業後の比較(見通し確保)



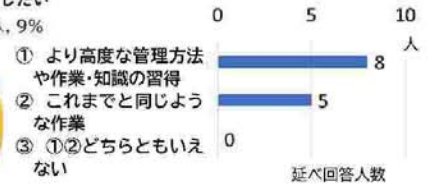
第4回イベント参加者アンケート結果(回答数11)

1 参加した感想

1 参加したくない～5 また参加したい  
 2, 0人, 0%  
 3, 1人, 9%  
 4, 3人, 27%  
 5, 7人, 64%



2 今後の活動内容



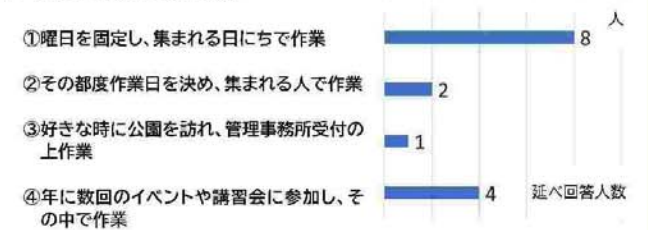
5の理由: 世代を超えた方々と皆でやりきる感覚を得られるから。

①伐採の規模が拡大する中で効率や安全性を高めた方が良いと思うから。  
 ②専門的な作業は用具とか知識が必要になり安全の確保がむづかしい。ボランティアレベルが年齢層広く作業出来る良いと思います。

3 今後希望する活動項目



4 今後の活動の作業方法



①運営上最少催行人数などがあればその限りではありませんが。  
 ②・③安全な作業の確保。

5 その他自由意見

・<提案>・さくら祭での活動展示・常設の立て看板の設置・傷付いたさくらのサポートという意味での里親スポンサー制度を  
 ・桜をきっかけに、公園の他の木(植物)、桜・植物が元気に育つ環境(多様性)について、考えたり調べたり学んだりして私たちの生活と密接に関係していることに気づき、植物たちに感謝する気持ちを持つ仲間を増やしたいです。

今年度の“さくら再生ボランティア”活動まとめ

延べ14回・69人で、今年度イベント実施区域内で、施肥・土壌改良したサクラ:60本、支障木伐採60本、剪定60本。参加者の皆様、市のご担当者様お疲れ様でした。

活動日と市民等参加人数 (AM9:30～2時間程度、市・管理職員等除く)

月日(曜日)	12月				1月					2月				3月		
	13日(火)	16日(金)	20日(火)	23日(金)	10日(火)	13日(金)	17日(火)	20日(金)	24日(火)	27日(金)	7日(火)	10日(金)	14日(火)	17日(金)	28日(火)	3日(金)
参加人数	雨中止	3人	6人	4人	5人	4人	4人	4人	5人	3人	6人	雨中止	7人	4人	7人	7人
作業内容	-	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	剪定	施肥	施肥	施肥	-	施肥	施肥	施肥	施肥

